

## 編集を終って

計算機システムはますます高度になり、利用形態も大幅に多様化されている昨今です。それに伴い、ユーザが新たに必要とする知識も増大してきています。本学についても例外ではありません。計算機センターでは、このような状況にかんがみ、以前から教育小委員会の委員を中心として、ユーザのための利用の手引きをそのつど発行してきました。日本語ラインプリンタ（NLP）により、ユーザが簡単に入手できるものに限っても、その種類は現在20を数えようとしています。

本号は、その中からTSS利用に関する手引きをひとまとめにして、ユーザの便宜をはかろうとしたものです。全くの初心者向けのものから、上級者用のものまで豊富な内容を含んでおり、ユーザそれぞれの要求を十分に満たしてくれるものと確信いたします。それぞれの手引きは、各執筆者の献身的な努力により作成されたものであり、必ずしも専門家でない方々が手引き執筆にかけられた御苦労に深く敬意を表します。又、執筆者の原稿に何度も目を通して、ユーザのためのよりよい手引きを完成することに協力を惜しまなかった教育小委員会の陰の力も忘れてはなりません。以下の委員の方々には、今までの御活動に感謝するとともに、今後ともユーザのために御活躍をあらためてお願いする次第です。

### ・教育小委員会委員

車古 正樹	計算機センター
関崎 正夫	教養部化学
田中 勝人	経済学部
中島 恵美	薬学部製剤学
長野 勇	工学部電気工学科
山崎 光悦	工学部機械工学科
山下 邦弘	計算機センター

本号発刊の意義についてはセンター長が、又、本号の利用法については教育小委員長が書いて下さいました。さらに、手引きの著者の方々には、日本語及び英語の索引作成に御助力戴きました。これらの方々には、あらためてこの場をかりて感謝いたします。

本号を送り出すにあたっては、計算機センターの方々にも多大な御助力を賜りました。手引きをNLP出力するために、独自のアプリケーションを作成された車古 正樹氏、山下 邦弘氏、又、実際に日本語入力を担当された方々に深謝する次第です。具体的な担当者は次の方々です。

・アプリケーション〔(1)～(6)〕 作成

担当者 車古〔(1)、(2)、(3)、(5)、(6)〕 山下〔(4)〕

	アプリケーション名	使用言語
(1)	ATFTXT (数式の出力)	ATF、PL1
(2)	KUFCJ (フローチャートや図の作成)	FORTRAN77、IPF、日本語図形ライブラリ
(3)	KUFCP (フローチャートや図の作成)	FORTRAN77、GRACE、IPF、PSP
(4)	KUVTR (テレビカメラ入力)	ASM、PL1
(5)	NLPTXT (文字パターンによる縮小出力)	FORTRAN77、日本語図形ライブラリ
(6)	PLTTXT (プロットイメージの縮小出力)	FORTRAN77、PSP

・日本語入力

担当者 川崎礼子 中田磨里子 西納美千代

最後に、本号のような手引き特集の続編を出すことを約束して、編集の後記とします。

広報小委員会

(文責 委員長 田中 勝人)